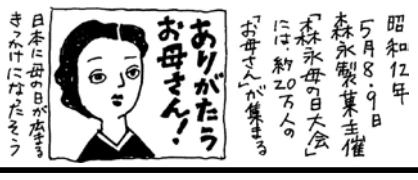
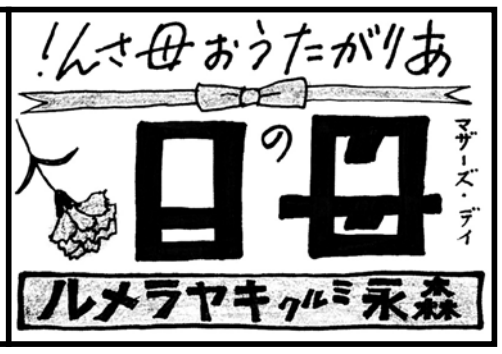
コラーレ倶楽部の　コラーレ倶楽部による　コラーレ倶楽部のための　新聞です

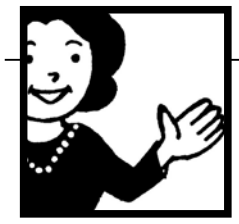
2026
5
May　皐月

コラーレ倶楽部通信



コラーレ倶楽部通信新聞部
〒938-0031　富山県黒部市三日市 20 番地　コラーレ
TEL. 0765-57-1201　FAX. 0765-57-1207





「卑弥呼くろべ」にオジャマ

おもてなしの心を花に託して

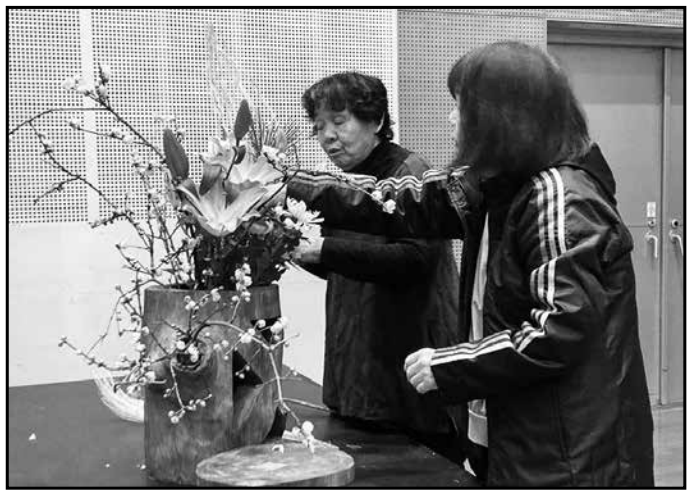
いつもコラーレのカーターホールでにこやかに会場案内されている「卑弥呼くろべ」の皆さんですが、「パフォーミングアーツのエントランス」では会場コーディネーターとしても活動されています。

今回は２月にコラーレのマルチホールで開催された「講談（宝井琴鶴（きんかく）＆神田山緑（さんりょく））」公演の会場コーディネートの様子を取材しました。厳冬の演奏会場をいかにして和やかな空間にされるのか。去年も大雪、今年はそれをも超える大雪のこの時期ですが、いつも生き生きとした花や枝が集まるものだと驚くばかりです。公演前日の午後にマルチホールにお邪魔すると、メンバー５名がそれぞれにお花を抱えて集まってこられました。

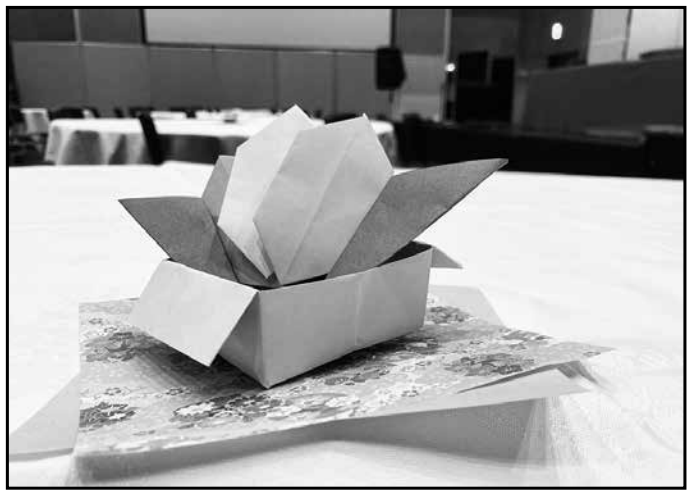
正月の門松に使ったりっぱな竹を、取り置きしてあった倉庫から運び出してきました。毎年門松をリユースしているとのことです。今年の竹は超立派。「立てるのは危ないから寝かせて使いましょう」「ゆずり葉が今年の門松に無かったので、斑（ふ）入りのアオキと啓翁桜（けいおうざくら）と百合を使いましょう」「それじゃあ、松と蝋梅（ろうばい）はステージ横に使ったらいいね」「今年も袋帯もってきましたよ」

集まった材料をどこに使うか皆さん思い思いに構想を伝えあって、自然に分担が決まっていきます。「今年は去年以上の積雪で、使おうと思っていた椿取りに行けなかったわ」「うちの庭のピンクと赤の山茶花を持ってきたから何とか使って」という会話が。卑弥呼が使うお花はほとんどが自宅や知り合いの方から手に入るものを使っているそうですが、さすがに今年の積雪には勝てず、「実はお正月用に余分に買ったカサブランカなどなんだけど、使うわね」とハランや菊等も加わりました。

連絡係の市川さんから事前にメールでお知らせが届き、参加できる人が使えそうな植物を見繕って集まります。「臨機応変に、あるものを持ち寄って、演奏の邪魔にならないように、お客様に楽しんでもらえるよう知恵を出し合ってね。流派はと聞かれたら卑弥呼流と答えてます」とのこと。楽し気におしゃべりをしながらもせっせと手を動かしてお花が活けられていきます。前日にメンバー宅から運んだ重い木製の立派な花器もステージによいしょっと持ち上げます。長年培ってこられたおもてなしの精神とチームワークの良さが光り、会場をぬくもりある空間に仕上げました。　（TEXT ＝ か）



いろいろな形の穴が開いた木の器。重いですがステージに上げて、蠟梅（ろうばい）とカサブランカと門松の松を活用。



テーブルには折り紙のお花。準備に来られなかったメンバーが作ったチューリップです。

門松の竹をリユース。竹が長すぎるから寝かせましょう。知恵を出し合って活けていきました。

山田村の啓翁桜（けいおうざくら）と南天（なんてん）の赤い実と百合。山茶花（さざんか）の小枝も挿しいれて、華やかに完成。

今月のひとりごと

サルのお手柄

今年で 69 歳、年のせいであろうか一昔前では、夜のゴールデンタイムといえばバラエティ番組どこの局が面白いだろうと番組表を見ていたが、最近は大河ドラマ一辺倒。今は『豊臣兄弟』がオンエアされている。信長、秀吉、家康といえば大河ドラマの定番中の定番、どこぞのミイラ展ではないが、またかと思いながらつい見てしまう。飛んで火にいる夏の虫とはこのことか。名画、炎舞の蛾のようである。

この豊臣兄弟、事実戦国時代にあっては珍しく仲が良く、お互い力を合わせ天下を統一していく。ドラマでは兄弟の知と愛が絡み合って、何とも小気味よく展開が進む。

さてここへ来てなぜ？　という疑問符も頭の片隅に。戦国時代といえば、親兄弟といえど必要とあれば手にかけてしまう正に血で血を洗う時代。信長と信勝、道三と義龍、遡れば頼朝と義経。豊臣兄弟はなぜ仲が良かった？　自分なりの考察であるけれど、武士階級に生まれ育った信長等は生まれながらにして家督争い等の火種が絶えず、たとえ親兄弟であれど裏切りが日常茶飯事だったこと。一方、豊臣兄弟は下層階級に生まれお互いが共に貧困時代を過ごすという共通のバックボーンがあったこと。きっと家族の信頼が生きていく上に必要不可欠であったのでは？

こうして大河ドラマに家族のあるべき姿を学ぶ、なんとも有意義な高齢期を迎えたことか。　＜栄々オー！＞

アクティブグループ

「アクティブグループ」とは、コラーレ倶楽部会員の中で、特に意欲的・積極的に活動するメンバーが集う、いわば「サークル」みたいなもの。自己表現したい人、裏方に興味のある人、ボランティア活動したい人……何かしたくてムズムズしているいろんな人たちが、それぞれ自分の得意分野を持ち寄って無形の情熱を有形に変えていくグループです。何を作り上げるかによって構成メンバーは変化するでしょう。しかし、主役は常にあなた自身です。

コラーレ倶楽部アクティブグループ
５月の活動予定

大人のピアノサークル　ドレミの会
ピアノを楽しんでいます。特に指導はありません。
▼５月９日㈯・23 日㈯ 各日 13:00 ～ 17:00

弦楽サークル　楽屋ストリングス
ヴァイオリンを楽しみましょう。初心者大歓迎。
▼５月 12 日㈫・26 日㈫ 各日 19:30 ～ 22:00

アコギを楽しむ会
アコースティック・ギターを楽しみます。見学歓迎。
▼５月 10 日㈰・24 日㈰ 各日 19:00 ～ 22:00

消しゴムはんこづくり　ぺったん
１回だけの参加も大歓迎。初心者もＯＫ、材料費必要。
▼５月 28 日㈭ 19:30 ～ 21:00

コラーレ倶楽部通信新聞部
この倶楽部通信を毎月作っています。お仲間募集中。
▼ミーティング：５月 11 日㈪ 19:30 ～ 21:00

お問い合わせ：コラーレ（tel. 0765-57-1201）

コラーレ倶楽部　鑑賞レポート

こんなン観てきました！

コンサート、お芝居、映画、美術展など、倶楽部会員からの鑑賞レポートが届きました。

コラーレ・ワールドフェスティバル Earth Moving（カンボジア）

2026年3月7日／コラーレ

エントランスに足を踏み入れた瞬間、私のカンボジア旅が始まった。「トゥクトゥク」がある。雨風避けの透明ビニールが必要に応じて使えるよう上に巻きつけてある。なるほど。石造りの寺院、壁面彫刻、古典舞踊、色鮮やかな野菜が並ぶ市場など多くの写真が円柱を飾り、見上げる大ガラス面には「アンコールワット」。ワクワク感全開。

先ずはスロープを上り展示室へ。目に飛び込む４枚の巨大写真「トンレサップ湖」「アンコール・ワット」「タ・プローム寺院」「プノンペン」前に立つと景色の中に溶け込む写真が撮れるのも嬉しい。もう一方の壁にはカンボジア・ウンチク展の説明付き写真が並ぶ。歴史、観光、クメール料理など興味深い。読み進めていくうちに目にとまったかぼちゃの写真、何と語源は当時カンボジャと呼ばれていた国名とのこと、ひとつ物知りになってしまった。11時、世界の雑貨バザール開始。現地買付けの品々には、幸せのシンボルと言われている象の置物や愛らしいぬいぐるみ、高品質の胡椒など。チェック柄の布クロマーは淡い色使いと風合いが素敵。お気に入りを見つけ友人と一緒に買い、その場で首元に巻く。気分も上がり、大きな楽しみのひとつ、アース・カフェに入る。カボチャのプリンやココナッツ煮のあるスイーツセットを選び席につき早速いただく。ほっとする甘さでとても美味しい。丁度のタイミングでバンド演奏が始まり、目も耳も口も全部至福。何だろう、時々聞こえてくる「スオ・スダイ」の声、カンボジアの言葉で「こんにちは」の意味。スタッフと挨拶を交わしスタンプ集めると抽選で景品が当たる子供さん向けお楽しみとのこと。それで先ほどから可愛らしい声が聞こえてきたのか。

映画、舞踊・音楽公演、料理教室、体験教室など盛り沢山。見たい、聞きたい、知りたいが存分に満たされた２日間。訪ねてみたい国が今年もまた確実にひとつ増えた。

「ありがとう！」Earth Movingに心からの感謝を。

＜ 黒部市　Y.S ＞

みんなで「ギネス世界記録®」に挑戦 塗り絵で作られた最大のモザイク（ロゴ）

2026年3月15日／コラーレ

「世界をもっと面白く、楽しくポジティブな場所にする」のがギネスワールドレコーズの目的。

コラーレ開館30周年を記念して挑戦した「塗り絵で作られた最大のモザイク（ロゴ）」のボランティアスタッフに、縁あって参加しました。コラーレ・ラリーのキャラクター、セロリとパセリの顔と大きな風船が描かれたシンプルな線画に、ポスターカラーや色鉛筆、ペン等で塗り残しが無いように注意を払いながらの制作です。塗られていない箇所が少しでもあればギネス認定はされないとのこと。この塗り絵作業には、小さなお子様連れの親御さんから高齢の方まで、沢山の参加がありました。１枚だけでは飽き足らず、複数枚を楽しんで塗っていた人もちらほら。風船を、ロゴ部分となる黄、赤、青、緑色に。背景となる部分をクリーム色に塗り分けし、最終的に繋ぎ合わせて巨大なモザイクロゴにする挑戦。入れ替わり立ち代わりの６日間で参加者のべ351名、1080枚の塗り絵を仕上げました。次なる作業はそれを繋ぎ合わせていかねばなりません。繋ぎ合わせる際、ちょっとでも重なっていたり隙間があると不可となる厳しい規定が。ここで失敗しては世界記録の認定がされないというプレッシャーを背負い、コラーレスタッフの皆さんと我々ボランティアチームが一丸となってこの作業に取り組みました。

塗り絵の段取りもそうでしたが、効率良く繋ぎ合わせる方法をコラーレの方が細やかに計画しておられ、目を見張りました。そして！　まさに楽しく、ポジティブな時間を経て、厳正なる審査の結果、公式認定員の方から世界記録のお墨付きをいただいたのです！　認定式には塗り絵で参加された方の姿も多数あり、賑やかにフィナーレを迎えました。次にコラーレが世界記録に挑む時、全世界がポジティブな場所になっているよう願うばかりです。　＜Ｐ＞

わたしの旅行記

ヨーロッパ紀行 ③（全３回）（オランダ）

ドイツのデュッセルドルフからライン川に沿って北西へ。ほどなくオランダに再入国。とたんに車のスピードが約100km/h程に下がる。本日の目的地はオランダ中部の美しい街ズヴォレ。ここは同行のＥさんがフラワーデザインの修業に来ていた場所。当時はお店と宿の往復だけで、あまり街の風景は覚えていないそう。翌日は街歩き。中心部の旧市街では「のみの市」開催中、多くの人でにぎわっている。運河が美しい通りを歩き、Ｅさんは改めて「こんなきれいな街だったの!!」と感激。夜はスーパーで食材を買い、ホテルの部屋で夕食。オランダ名物の「ニシンの酢づけ」をいただく。「口を上に向け、ぶら下げたニシンにかぶりつく」のがオランダ流の食べ方。なかなかの美味、オランダの庶民の味だ。

翌日はいよいよ56年前に住んでいたスネーク（現：スドウェスト・フリースラン）に向かう。スネークに近づき、見覚えのある建物を発見。カーナビに従い、まずは当時お世話になったレンキャーさんのお宅へ向かう。家の外に出て出迎えてくれている姿を見たとたん、昔の思い出があふれてくる！　外のテラスで紅茶とお菓子をいただき、昔の写真を見ながらなつかしい話に花が咲く。そしてテレビ電話で黒部にいる母とつながり、まるでいっしょにその場にいるかのように話す。便利な世の中になったものだ！　楽しいひと時を過ごし、次は昔住んでいた家に向かう。建物は色や屋根の形は変わっていたものの、今もそこにあった!!　当時は街外れだったのに、今では住宅地の真ん中になっている。なつかしの街をドライブした後、最後の宿泊地アムステルダムに向かう。

ヨーロッパの道路はよく出来ている。田舎の交差点に信号機は少なく、ほとんどがラウンドアバウト（環状交差点）なので、無駄に停車する事がない。これは良い。
そして今回の旅では何度となく立ち並ぶ風力発電用風車を見た。山が少ないこのあたりでは、水力発電はほぼ出来ないらしい。昔からヨーロッパ、特にオランダは風を利用して発展してきたという事を実感した。

翌日、海抜−４ｍのスヒップホル（スキポール）空港を出発。再びのロングフライトで成田空港に到着。「暑い！これが日本だ!!」と実感して、10日間の旅を終えた。［終］

＜えりっ君／♂＞

プリンセスＱＰ ズバリ占う！あなたの５月の運勢

【１月生】人生設計を見直す絶好の星回り。恋愛運低調。金運平穏。仕事は困難な課題も成長のチャンスと捉えて吉。
【２月生】人から学ぶ謙虚な姿勢が可能性を広げる星回り。恋愛は歩み寄って。金運低迷。仕事は専門用語の誤解に注意。
【３月生】物事が円滑に進まなくても焦る必要のない星回り。恋愛は独占欲に注意。金運低迷。仕事は過去の人脈が鍵に。
【４月生】心の重荷を手放す星回り。恋愛はさりげない支えが吉。金運低迷。仕事は聞き役に徹して打つべき手が見える。
【５月生】快適な環境が集中力を高める星回り。恋愛はときめきが吉。金運平穏。仕事は相手の立場に立った丁寧さで吉。
【６月生】困難や悩みが解消する星回り。恋愛運絶好調。金運好調。仕事は即座に切り替える強さが大好機を引き寄せ吉。
【７月生】失敗は学びの種と心得る星回り。恋愛運低迷。金運貴重品の管理徹底せよ。仕事は油断せず、丁寧に進めて吉。
【８月生】自由な発想で可能性を広げる星回り。恋愛は心配りで吉。金運好調。仕事は広い視野での行動が評価を高め吉。
【９月生】時間管理が目標達成の近道となる星回り。恋愛はお礼の一言が鍵に。金運低調。仕事はイメチェンで運気上昇。
【10月生】楽しい時間がエネルギーを高める星回り。恋愛は一緒に将来を考えて吉。金運平穏。仕事は異分野で活躍する。
【11月生】日々の生活を大切にする星回り。恋愛は相手の主張を尊重し吉。金運好調。仕事は余裕の日程管理が効率の鍵。
【12月生】関心を深めると道が開ける星回り。恋愛運絶好調。金運良好。仕事は情熱が再燃し、大きなやりがいを感じ吉。

※恋愛運は愛情運の一部です。恋愛運が絶好調なら愛情運も凄く良いと思ってください。老若男女、既婚の方もお楽しみください。

新聞部からのおてがみ

風薫る５月。新芽が芽吹き山の緑がもこもこと盛り上がって山笑う季節です。心地よい天候に誘われ山歩きや、山菜取りもまだ可能かもしれませんが、事故やクマとの遭遇等にくれぐれも気をつけて。

「今日あなたは空を見上げましたか」で始まる長田弘の詩に、「街路樹の木の名を知っていますか」「好きな花を七つあげられますか」との問いがありますが、おそらく卑弥呼の皆さんは即答されるのでしょう。今月の特集では、こよなく花を愛し、おもてなしの心に溢れる皆さんならではの活動の様子をお伝えしました。　＜山姥＞

編集後記

■テレビ番組『プレバト!!』でおなじみの夏井いつきさんの句会ライブを観て来ました。俳句は全く弱く、チーム裾野の裾野のためか、入賞も決勝七句にも残れませんでした。ただ認知症予防にも役立つので、少しずつ俳句を書いていくかな？　＜どら＞
■突然の激痛で右肩が動かなくなり夜も眠れない状態に。右肩の石灰沈着による炎症でした。右肩にステロイド薬の注射を打ちました。注射を打ちながら先生が「大丈夫ですか、痛さで失神しそうですか？」と聞かれビックリ。失神する人いたのかな？　＜み＞
■気象庁が最高気温40度以上の日に新たな名称を定めるにあたり、国民アンケートを実施したが、これを書いている時点でまだ発表されていない。個人的に極暑日、烈暑日あたり良いのではと思っているが……こんな名称の日はこないで〜っ！　＜パペポ＞
■ここへ来てようやく花粉症のひどさから解放されてきた。が、今年は特に身に応えた。花粉が多かったといえばそれまでだが、それにもまして黄砂やｐｍ2.5の飛散もすごかった気が？　まさに悲惨の日々、泣き止む日はいつ？　＜気を張ろう警報＞
■３月に「ギネス世界記録に挑戦」で塗り絵をしていると、向かいにいた３人組が「この子たちの名前知ってる？」「パセリとセロリ！」と言っていた。「セロリが姉御肌の四角い帽子の子」と教えようと思ったが「あってるかい？」　＜頭はピーマン＞
■突然の気温の変化に戸惑っています。昨日まで上着を着てた私ですが、次の日には半袖でも良かったんじゃないの？　と思うくらいの暖かさ。春服が乏しいからしのげそうだけど、変化についていけないぜ(汗)。　＜月がふたつ＞

投稿記事募集中

【こんなン観てきました】
コンサート、演劇、映画、美術展等の鑑賞レポート。会場はコラーレ以外でもＯＫ。1,000字程度で、公演タイトルと鑑賞日も忘れずに。

【気ままになんでも写真館】
あなたが撮った写真を送ってください。「畑でできた大きな大根を見て」「我が家のペットです」等、何でもＯＫ！　コメントは120字程度で。

【わたしの旅行記】
国内、海外問わず、旅行体験を1,000字程度で書いてください。